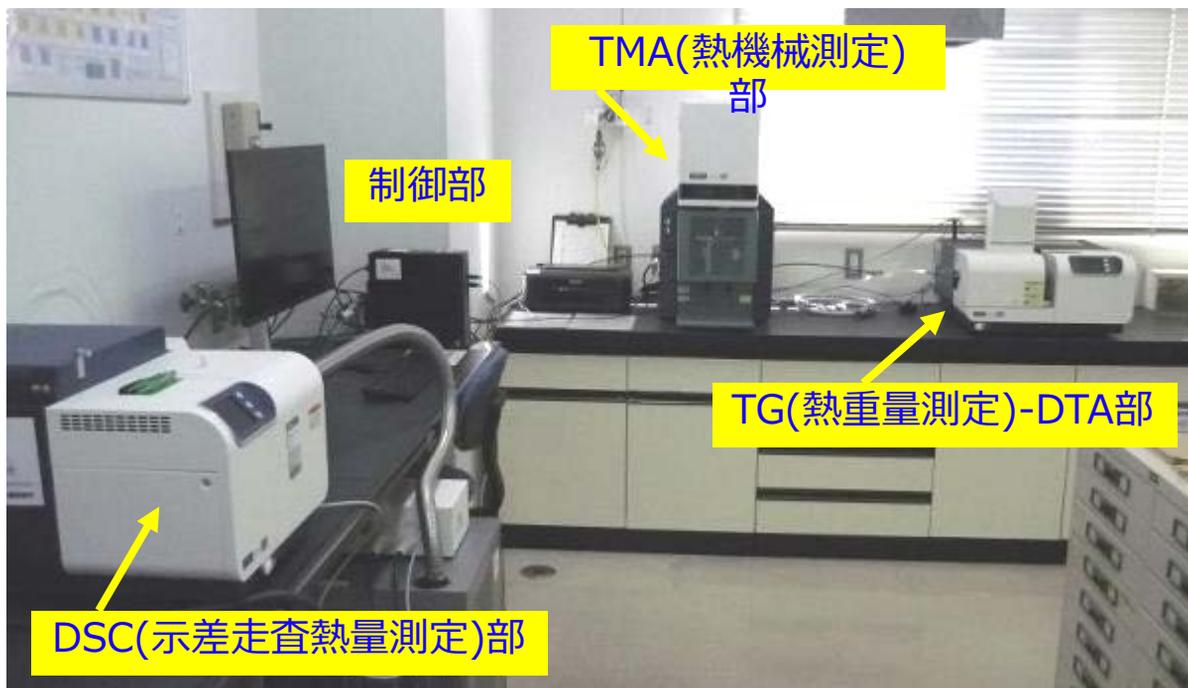


速度制御熱分析装置



熱分析装置は、物質の温度を所定のプログラムによって変化させながら、その物質の熱的・物理的性質を温度の関数として測定する装置です。具体的には昇温に伴い現れる「融解、分解、脱水、揮発、酸化・燃焼、膨張・収縮」といった各種状態変化を調べることができます。プラスチック・ゴム、金属、セラミックス、食品等幅広い分野に利用できます。

<名称・型式>

速度制御熱分析装置 (株)日立ハイテクサイエンス

NEXTA DSC200、NEXTA STA200RV、TMA7100

<主な用途>

- DSC(熱量測定)による電線被覆用ポリエチレンの結晶性の評価解析
- TG(熱重量測定)-DTAによる加硫ゴム中のカーボンブラックの含有率
- TMA(熱機械測定)による非晶質プラスチックの成形不良原因の調査等

<主な仕様>

DSC(熱量測定)部・・・低温度域からの測定：-80℃（～500℃）

TG(熱重量測定)-DTA部・・・1,000℃から50℃までの冷却時間：約20分

TMA(熱機械測定)部・・・試料とプローブとの融着防止機能

お問い合わせは・・・材料科 TEL：053-428-4156 まで